

## トピックス

### キンメダイ標識放流と再捕

静岡県をはじめ、千葉県、東京都、神奈川県は全国のキンメダイ水揚量の約8割を占める全国有数のキンメダイの産地です。これら一都三県では、漁業者主体の資源管理の取組が行われており、例えば伊豆東岸では、全長28cm以下の小型魚の放流、定期休漁日を設ける、水深200m以浅では操業禁止等の自主的な管理を行っています。伊東・熱海地区の漁業者で組織する「伊豆東部一本釣り協議会」では小型魚主体の漁場での操業の自粛をしており、漁場で保護したキンメダイがどこに移動するのか調べるための標識放流を行っています。今年度は4月19日と5月10日に初島沖と富戸沖で、計567尾のキンメダイを標識放流しました(写真1、2)。これらの標識魚には写真3のようなタグが打ち込まれているため、見かけたらお手数ですが、尾叉長、体重、漁場、漁船名を当场にご連絡をお願いいたします。



写真1 標識放流

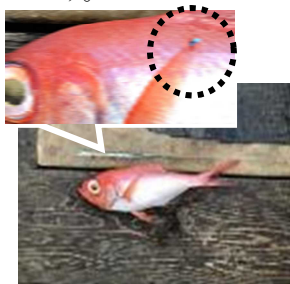


写真2 標識がついたキンメダイ

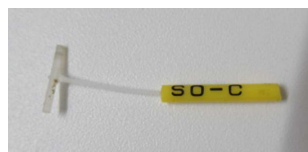


写真3 キンメダイのタグ

今年度は標識キンメダイ再捕のご連絡を神奈川県のみうら漁協松輪支所所属船からいただきました。再捕された個体の放流日は2019年12月10日、漁場は初島付近で、再捕された日は2021年5月24日、漁場は東京湾口、尾叉長は31cmでした(表、図)。この個体を放流した時の尾叉長は不明ですが、同漁場では通常尾叉長24~28cm程度を放流しているため、放流時は4歳程度で再捕時は5歳程度と考えられます。今回、標識魚が他の漁場で再捕されたことで、初島沖での操業自粛により、周辺の漁場で効果が得られるという一つの証拠となります。

表 放流時と再捕時の記録

	放流時	再捕時
放流・漁獲日	2019年12月10日	2021年5月24日
漁場	初島周辺	東京湾口
尾叉長	-	31cm
重さ	-	700g



図 放流と再捕場所

(高田伸二)